公的関与 No. 022 3001 事務事業名 安全管理事務 細事務事業名 重信幼稚園 電話番号 メールアドレス gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp 課 名 学校教育課 係 名 089-964-4420 事業運営方法 一部委託 事業期間 事業区分 ソフト事業 実施計画 非該当 年度 ☑ 期間設定なし 年度 総合計画 政策目標 第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち | 政策項目 2 学校教育の充実 主要施策 (2)生きる力の育成を重視した教育活動の充実 事業の対象 園児 根拠法令 学校教育法 東温市幼稚園規則 事業の目的 今年度 **最終的** 安全な生活に必要な習慣や態度を身に付けます。 警察関係者、交通安全指導員による、交通安全教室等を開 (4) | 危機管理マニュアルの作成を行います。 1 催し、交通安全の意識の向上を図ります。 P 火災・地震が起きた際の行動の仕方が身に付くよう、計画的 **(5)** 活動内容 に避難訓練を実施します。 N |定期的に遊具安全点検を行います。 平成23年度 最終目標 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成21年度 平成22年度 目標 6 6 6 交通安全の理解・意識向上のた 口 交通安全指導回数 実績 避難訓練の実施により、望まし 成果指標 11 11 11 目標 避難訓練回数 い行動の仕方が身に付くことが 口 実績 11 11 期待できるため 定期的な安全点検を行うこと 目標 12 12 12 \rightarrow 遊具安全点検回数 で、危険箇所の早期発見を図る 口 実績 12 12 予算費目 会計 一般会計 費目名 教育 費 平成 21 年度決算 平成 22 年度決算 平成 23 年度予算 備 考 国 · 県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 351 千円 350 千円 362 千円 計(A) 351 千円 350 千円 362 千円 0.056 正職員工数・経費 0.009 人 68 千円 0.056 人 422 千円 人 414 千円 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.033 0.002 人 3 千円 0.033 56 千円 人 55 千円 全体事業費(A+B) 422 千円 828 千円 831 千円 合 今後の方向性 一次評価者 有効性 現状維持 重信幼稚園 必要性 達成度 効率性 4 評価点 説 項目 価 項 目 の 明 (一次評価者のコメント) 交通安全指導・避難訓練などを実施することにより、園児の意識の向上が図られます。また、定期的な遊具の点検は、安全な園環境の保持のた 必要性 めに必要です。 安全な生活を営む基礎を習得するために必要な活動だと考えます。幼児だけでなく、保護者の意識向上を図り、家庭との継続した指導が有効だ C 有効性 と考え、実践しています。 Η Ε 達成度 | 交通安全教室・避難訓練・遊具安全点検が計画に従い定期的に実施されています。 C 交通安全指導・避難訓練については、地域の関係機関等の協力も得ていますが、関係機関の力をより有効に効率的にいかした内容を計画して 効率性 いきたいと考えます。 Α C 当面の T 遊具については、設置から年数の経つものも多く、今後安心して使用するためにも、より丁寧な点検、またその結果に伴う修理等が必要です。 課 題 0 革 改 交通安全指導・避難訓練などの内容の検討を行い、遊具についての計画的な修繕を実施します。 N 計 画 合 二次評価者 現状維持 学校教育課長 必要性 効率性 今後の方向性 有効性 達成度 4 4 評価点 交通安全指導については、引き続き、保護者への啓発と共に地域の方々の理解と協力を得ながら、かけがえのない幼児の命をしっかり守っていくよう努めてくださ 二次評価で 遊具については、今後、老朽化が進んでいくので、業者による点検を定期的に行うと共に、職員の日々の点検を怠らないようにし、安全に使用できるよう努め、異常 の指摘事項 が認められた時には、速やかに対応してください。 避難訓練は、計画的に実施しているが、大災害が起きた時を想定した危機管理の在り方の見直しを図り、職員のモチベーションを高めていく必要があります。

公的関与 No. 022 3004 事務事業名 施設環境整備事務 細事務事業名 メールアドレス gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp 課 名 学校教育課 係 名 重信幼稚園 電話番号 089-964-4420 事業期間 事業運営方法 事業区分 施設の維持管理 直営 実施計画 非該当 年度 ~ 年度 ☑ 期間設定なし 総合計画 |政策目標||第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち | 政策項目 | 2 学校教育の充実 主要施策 (1)学校施設・設備の整備 教材や保育環境全般 根拠法令 学校教育法 東温市幼稚園規則 事業の対象 今年度 事業の目的 最終的 保育環境を整備し、園児の健全な成長を確保します。 **4** ① 園舎内の環境整備 P 活動内容 **(5**) ② 園庭の環境整備 ┃物品・備品の購入・保管・処分に関する事務手続き 計算式又は指標設定理由 平成22年度 指標名 単位 平成21年度 平成23年度 最終目標 目標 業務の性質上、指標設定になじ まない。 実績 成果指標 目標 実績 目標 実績 予算費目 一般会計 会計 費目名 教育 費 平成 21 年度決算 平成 22 年度決算 平成 23 年度予算 備 考 国・県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 5,333 千円 1,909 千円 1,815 千円 計(A) 5,333 千円 1,909 千円 1,815 千円 9,964 千円 正職員工数・経費 1.009 1.348 人 7,622 千円 1.348 人 10,161 千円 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.717 人 1,227 千円 0.955 1,625 千円 0.955 1,604 千円 全体事業費(A+B) 14,182 千円 13,696 千円 13,384 千円 合 一次評価者 有効性 効率性 3 現状維持 重信幼稚園 必要性 達成度 今後の方向性 4 評価点 評 説 項目 価 項 目 の 明 (一次評価者のコメント) **必要性**┃園内の教育環境を豊かな経験を保障するものに整備することは、幼児期の教育現場として必要不可欠です。 C |有効性||園内の環境が安全で清潔な状態に整備され、望ましい教材・備品等の構成がなされることで、安全で充実した園生活が保障されています。 Η Ε 園内の施設・設備が安全で清潔な状態に整備されています。また、現状把握に対応して、黒板の固定、倉庫等の修理などの修繕を行うなど、必 達成度 C 要となる改善を行うことにもつながっています。 **効率性** 全職員が共通理解のもと、整備に取り組んだり、教材の計画的な管理を行うことでより効率的になるものと考えます。 C 当面の |教職員による日常的な園内外の環境整備は、今後も継続して実施していく必要がありますが、園舎等の設備が老朽化していることに関連する保 題「育環境の悪化については、計画的・専門的な対応が求められます。 課 0 改 保育環境は、今後も継続して整備し、幼児の健全な成長を保障していきたいと考えます。 N 計 画 合 有効性 二次評価者 学校教育課長 必要性 達成度 効率性 今後の方向性 現状維持 3 評価点 安全で充実した保育環境整備は、保育の質を高め、幼児の成長発達を促していくために必要不可欠のものです。教職員一人一人の 二次評価で 自覚を高めていくと共に、老朽化している園舎等の設備の整備については、保育のニーズに合わせ、できるところから少しずつ改善し の指摘事項 ていくことが必要です。

公的関与 No. 022 3009 事務事業名 未就園児支援事業 細事務事業名 メールアドレス gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp 課 名 学校教育課 係 名 重信幼稚園 電話番号 089-964-4420 事業運営方法 実施計画 事業期間 年度 ☑ 期間設定なし 事業区分 ソフト事業 直営 非該当 年度 総合計画 政策目標 第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち | 政策項目 2 学校教育の充実 主要施策 (5)家庭や地域との連携 未就園児とその保護者 根拠法令 事業の対象 園を開放し未就園児親子の集いの場を作るとともに、遊 事業の目的 最終的 今年度 びや子育てに関する情報を提供、共有します。 未就園児とその保護者に、園を開放し、遊びの提供をしま 1 **4** P 保護者に対し、保健情報を提案したり、子育ての状況把握、 **(5)** 活動内容 悩みの共有などに努めます。 N (3) 計算式又は指標設定理由 平成22年度 平成23年度 最終目標 指標名 単位 平成21年度 定期的に園を開放し、未就園児 目標 5 6 6 園開放実施回数 口 とその保護者が集う場を提供す 実績 るため 成果指標 目標 実績 目標 実績 一般会計 予算費目 会計 費目名 教育 費 平成 21 年度決算 平成 22 年度決算 平成 23 年度予算 備 考 国 · 県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 0 千円 0 千円 0 千円 計(A) 0 千円 0 千円 0 千円 正職員工数・経費 0.038 人 287 千円 0.016 人 121 千円 0.016 人 118 千円 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.035 59 千円 0.033 人 56 千円 0.035 60 千円 人 全体事業費(A+B) 344 千円 180 千円 177 千円 合 一次評価者 有効性 現状維持 重信幼稚園 必要性 達成度 効率性 今後の方向性 4 評価点 項目 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント) 地域において、入園前に同年齢の幼児と遊ぶ機会は少なくなっているため、幼児だけでなく、保護者にとっても子育て仲間に出会い、親しみ、子 必要性 育てについて考える貴重な場としてニーズは高いと思われます。 園舎・園庭・園内の教材など、幼児期の遊びに適した環境を提供することが可能であり、親子で安心して活動することを保障しています。また、保 C 有効性 護者同士がつながる機会となったり、発達や子育ての状況把握にも有効です。 Η Ε 年何回かの子育て支援園開放を計画にそって実施し、多くの親子が継続して参加しています。入園予定の親子も多く、ここでのつながりから、教 達成度 C 職員と共に子育てについて考えていく素地をつくることもできます。 既存の園環境を利用しての活動を基本とし、コストは抑えられています。保育時間と平行して実施しているため、在園児の生活と未就園児親子の 効率性 活動の双方を充実させることの難しさはあります。 C 当面の これまでの資料・教材等を生かすことで、園開放の運営をスリム化することは可能だと考えます。参加した未就園児親子にとって楽しく有意義な活 題し動となるよう工夫しながら計画していきたいと考えます。 0 改 革 地域の子育て支援の拠点として、今後も継続して園開放を実施し、役割を果たしていくことが必要だと考えます。 N 計 画 合 有効性 二次評価者 学校教育課長 必要性 達成度 効率性 今後の方向性 現状維持 評価点 今年度より、園開放中のけがや事故に対応するために、保険加入が可能となり、保護者への自覚を促すと共に、安全面への備えがき 二次評価で ちんとできる体制になりました。安全性をよりアピールし、参加希望者の増加につなげてください。 地域の子育て支援の拠点として、今後も継続して園開放を実施し地域のセンター的役割を果たしていくとともに、未就園児やその保 の指摘事項 護者とかかわることで、在園児の人とかかわる力の育成へとつなげてください。

No.	022	_	4001	事務事	業名		安全	管理事務		紐	事務	事業名					公的関与	F 1
	課	名	学校教	育課	係	名 : 1	上吉井	·幼稚園	電話番	号	08	39-964-44	120	メールフ	アドレス	gakkokyoiku@	city.toon.eh	nime.jp
	事業区	区分	ソ	 フト事業		事業運営	方法	一部委	託 実	施計	画	非該当	事業	期間	年度	· ~ 年	度 🗹 期間語	設定なし
	総合計	+画	政策目標 第	3章 心豊/	かに学びあ	う文化創造	のまち	政策項目	2 学校教	育の	充実			主要施	策 (2)生	きる力の育成を重	視した教育活動	の充実
	事業の	対象	園児の安全	に関する	ること全角	投				根拟	l法令	学校教育	法、	東温市立	立幼稚園	園規則		
	事業の	目的				安全教育の 送れるよう <i>l</i>		を図ること す。	で、園児	今:	年度		り実施	をし、園り	見の安全	全指導いずれ 全な生活を確何 さす。		
Р			① 遊具安	全点検						4	保護	者を対象	とした	安全に	関する情	青報の提供		
LAZ	活動内	内容	②避難訓	練						5	緊急	対応時の	マニュ	ュアルを	作成			
			③ 交通安	全指導														
			:	旨標名		計算:	式又に	は指標設2	定理由	単位		平成21	年度	平成2	2年度	平成23年原	最終 最終 目]標
			遊具の安全	占給回数	*			の実施に。		口	目標	13		1	3	13	\rightarrow	
	b 11			лиды»		具の安全	度を	把握する/	こめ 		実績	13			3			
	成果指	旨標	避難訓練の	回数		, ,	. ,	の実施に。 図るため	より園児	回	目標	11		1		11	→	
						の女生唯	末と	凶るため			実績	11		1		10		
			交通安全指	導回数		安全指導通安全確		施により園 ため	園児の交	旦	目標				2	12	\rightarrow	
	予算費	± 🗆	△ =1					/C W/	弗口力		実績	11	***		2	#		
	丁异 5	€ H	会計	平		−般会計 年度決	1 告	平成	費目名			平成	教育 23	年度	又 笘	費		
			国・県支出		成 21		· 异 · 千円		22 年		算 千円	十八	23	一	<u>」。异</u> 0 千円			
			地方債	<u> </u>												1		
	直接事	業費	・ 地力 頃 その他特定則	- 31古			チ円				千円				0 千円	+		
D O							チ円				千円			2/	0 千円	1		
			一般財源				チ円				千円				61 千円	+		
			計(A) 正職員工数・約	3.弗 0.1	107 人	1	千円				千円	0.134	1	1	61 千円	1		
	人件費		臨時職員工数・			+	5 千円 千円				千円	0.134			91 千円	1		
	全体	重 樂 建	貴(A+B)	#其 0.0	062 人		· 千円 - 千円		시		千円	0.017			29 千円 30 千円	<u>.</u>		
					総合													
	一次評	価者	北吉井幼	稚園	評価点	А	必到	要性 4	有効性	4	達原	戊度 4	効型	率性 │ △	4 今後	の方向性	現状維持	寺
	項目				評	価	項	目	の 説		明	(一次評	[価者	カコメ	ント)			
	必要性		や条令で実が 必須要件です		が定めら	れた事業	であり、	、園児の安	全管理に	は、言	訓練や	指導は必	須要	件です。	安全基	準に基づいた	遊具の安全	之点
OH	有効性	園児(の安全を守る	ため、ま	た安全に	対する意識	畿の向	上を図るだ	こめに欠か	せま	せん。							
ECK	達成度	ほぼ負 識の [毎月点検や記 句上にも役立	練を実力 つていま	施すること さす。保護	により、園 者へも情幸	児の5 8提供	安全教育に	安心して	ている	ます。 ていま	またチェッ ミす。	クリス	トに記録	すること	こにより、教職」	員の安全管:	理意
· A C	効率性	遊具の確保が	の安全点検に が効率的に 第	は市の委員 に施できて	託業者が ています。	入っていま PTA奉仕 ^々	ぎす。 作業等	また交通安 等で協力を	全指導もする	市主作	催で実	施してい	ます。	園独自	でも点権	食や指導を実力	施しており、急	安全
T																った遊具の安 iしていきます。		底が
0 N			の安全を守る な管理を継続		直します。		こから、	, 今後も引	き続き事業	を推	進して	こいきます	。遊具	見の日常	点検や	不具合への速	やかな対応	ぶなど
	二次評	価者	学校教育	課長	総 評価点	А	必要	要性 4	有効性	4	達原	戊度 4	劾፯	率性 4	4 今後	その方向性	拡大·充氧	実
		評価で 摘事り		安全確保		こ努めてく	ださい	\ `o										

No.	022	_	4004	事務事業	名	旅	起設環	境整備事	努	細	事務	事業名						公的関与 1
	課	名	学校教育	課	;	名 北	二吉井	幼稚園	電話番	号	08	89-964-4	420	メール	レアドレ	ス gakkokyo	oiku@ci	ty.toon.ehime.jp
	事業区名	分	施設の	維持管理		事業運営	方法	一部委	託 実	施計	画	非該当	事業	美期間	年	度 ~	年度	☑ 期間設定なし
	総合計画	画	汝策目標 第3i	章 心豊かに	学びあう	文化創造の	りまち	政策項目	2 学校教	育の	充実			主要	施策 (1)学校施設	•設備	の整備
	事業の対	才象	数材や保育環	境						根拠	l法令	学校教育	 済法、	東温市	 方立幼科	#園規則		
	事業の目	的:	最終的 保育	育環境を整	備し、『	園児の健全	全な成	え長を確保	します。	今:	年度					保育環境を		、園児にも保
P			① 教材購入	、計画、管理	里保管	、処分を行	テいま	寸。		4	温度	、湿度、	正明、	換気等	辞良好に	エ維持します	0	
ΙĄΖ	活動内容	容	生活や遊行ったりし	をびがしやっ します。	すい環	境をつくっ	ったり、	施設内外	の美化を	5	落下	、転倒、	ガラス	飛散防	i止対策	を行います	o	
			3 塗装、修		行いま		.											
			指	標名 ————		計算記	式又に	は指標設定	E理由	単位		平成21	年度	平月	22年月	度 平成23	年度	最終目標
						業務の性 まない	質上、	指標設定	ごになじ		目標	-						
	成果指标	<u></u>				A'4'					実績目標							
	从本161	亦									実績	-						
		-									目標							
											実績							
	予算費[目	会計		<u> </u>	般会計			費目名				教育	Ĩ				
				平成	21	年度決	算	平成	22 年	度決	算	平成	23	年	度予算	i (i	# #	考
			国・県支出金	:		0	千円			0	千円				0 T	·円		
	1-t suc	<u>, </u>	 地方債			0	千円			0	千円				0 T	·円		
D	直接事業	₹ 費 - ₹	その他特定財源	Į.		0	千円			0	千円				0 T	·円		
Ō		F	一般財源			6,191	千円		2	2,418	千円			1	,629 千	·円		
			計(A)			6,191	千円			2,418	千円			1	 ,629 千	·円		
	 / .		E職員工数・経費	0.450	人	3,399	千円	0.413	人 :	3,113	千円	0.413	人	3	,053 千	·円		
	人件費(I	B) -	語時職員工数・経費	0.166	人	284	千円	1.035	人 .	,762	千円	1.035	人	1	,739 千	·円		
	全体事	業費	(A+B)			9,874	千円		-	7,293	千円			6	,421 千	円		
	一次評価	适者	北吉井幼稚	総 評価	合面点	Α	必要	要性 4	有効性	4	達用	戊度 4	効	率性	4	後の方向性	ŧ	現状維持
	項目			i	評	価	項	目(の 説		明	(一次訂	平価者	のコ	メント	·)		
			た教育環境へ 伴う無駄のな							·明確	化する	ることで共	:通理:	解がで	き、有効	効な手段が」	見つか	ります。また、
OII	有効性	效育環	境の充実は、	園児ととも	に保護	養者からも:	安心し	て預けて	もらう目安	になる	るため	に欠かせ	ません	ν.				
ECK			の消耗品はほに一度は行っ			別の整理	整頓	がされてい	ます。これ	いこよ	り増渥	成が人目で	ごわか	ります	。安全•	衛生面に関	するチ	エックも教職
· A C	効率性質	予算を 修繕の	園児のために 必要なものに	「有効に活」 「ついては、	用でき できる	るよう、計 らところは駆	画に基 戦員で	基づき購入 行い、必要	しています 要に応じて	ト。教 市に	材購。 報告	入の際は をあげてい	安価でます	で教育。	効果の	高いものを叩	今味し、	ています。また
TIC	課題	事前に 自己や	共通理解する 怪我などの起	る機会をつ ときない安/	くり、意 ひしてi	t図が誰に 遊べる環境	でも 竟づく	つかる保育 りが必要で	環境づくり)を心	がける	ます。今後	も見る	通しを	もった教	材購入計画	画を実力	をするとともに、
Z	改革計画	今後も	園児の健全な			ために必!	要な事	手業である	ことから、生	含後₹	引き組	続き事業	を推進	してい	きます	0		
	二次評価	适者	学校教育課	長 総評価	合 西点	Α	必要	要性 4	有効性	4	達用	戊度 4	効	率性	4	後の方向性	ŧ :	拡大・充実
	二次評 の指摘		園児の健	全な成長を	を確保	するためい	こ必要	をな事業で	す。園児な	ぶ気持	持ちよっ	く安心して	が近べ	る環境	. ざづくりに	こ努めてくだ	さい。	

No.	022 —	4009	事務事業名	未就園	別児支援事業	É	細事務	事業名				公的関与 7
	課名	学校教育記	果 係	名 北吉井	幼稚園	電話番号	号 08	39-964-442	30 メール	アドレス	gakkokyoiku@ci	ty.toon.ehime.jp
	事業区分	ソフ	 ト事業	事業運営方法	直営	実力	施計画 施計画	非該当	事業期間	年度	· ~ 年度	☑ 期間設定なし
	総合計画	政策目標 第3章	🏻 心豊かに学びあ	う文化創造のまち	政策項目 2	2 学校教育	ずの充実		主要抗	拖策 (5) å	家庭や地域との	連携
	事業の対象	未就園児とそ	の保護者			i	根拠法令	学校教育活	去、幼稚園	教育要领	頁	
	事業の目的	最終的 年齢	の幼児と遊べる	護者に対して園を は機会や保護者の て子育て支援を	の交流を図・	ったり、	今年度				知りになることで づくりをします。	子育てについ
P		① 園を開放	し親子で遊びま	す。			4 在園	児の様子を	:見てもらい	、子育で	に見通しをもつ	てもらいます。
LAN	活動内容	②時期に合	った遊びや歌を	:紹介します。			5					
				青報を発信しまっ								
		指	票名	計算式又			単位	平成21年	度	22年度	平成23年度	最終目標
		園開放実施回	数	月に1回第1オし、子育て支			目標	10		10	10	→
	- 4 -			を担うため 子育て支援に	ムツ亜わは	却の波	実績	10		10		
	成果指標	子育て情報の	発信回数	びを紹介し、			目標	10		10	10	→
				らうため			実績	10		2	2	
		園紹介の実施		地域にある幼や教育目標を			目標 三 実績			2	2	
	 予算費目	会計	_			費目名	大帜		 教育	2	費	
	77721	All	平成 21				 度決算	Ī		 隻予算	備	<u></u>
		国・県支出金		0 千円			0 千円			0 千円		
		地方債		0 千円			0 千円			0 千円	i i	
D	直接事業費	その他特定財源		0 千円			0 千円			0 千円	ł	
0		一般財源		0 千円			0 千円			0 千円	l I	
		計(A)		0 千円			0 千円			0 千円	ł	
		正職員工数・経費	0.038 人	287 千円		人	234 千円		人	229 千円	ł	
	人件費(B)	臨時職員工数・経費	0.033 人	56 千円	0.004	人	7 千円	0.004	人	7 千円		
	全体事業	 費(A+B)		344 千円		<u> </u>	240 千円			236 千円		
	一次評価者		総 合 評価点	A 必	要性 3	有効性	4 達原	戊度 4	効率性	4 今後	の方向性	現状維持
	項目		 評	価 項	目 の) 説	明	(一次評价	西者のコ	メント)		
		において、入園 について考える									育て仲間に出会	い、親しみ、子
CH		・園庭・園内の教同士がつながる							安心して活	舌動するこ	ことを保障してい	ます。また、保
ECK	達成度 年10 員と	回の子育て支援 共に子育てにつ	遠開放を計画(いて考えていく)	に沿って実施し、 素地をつくること	、多くの親子 もできます。	・が継続し 在園児と	て参加しての交流を[ています。 入 図ることで、	、園予定の 育ちの目9	親子も多 そをつかも	く、ここでのつな s機会となってV	がりから、教職 vます。
· A C	効率性 既存活動	の園環境を利用 の双方を充実さ	しての活動を基 せることの難しさ	をなとし、コストは なはあります。	抑えられて	います。保	と育時間と	平行して実	施している	ため、在	園児の生活と未	就園児親子の
T I		の母親にとって て実施する必要		て子どもを遊ば	゛せることがて	できる場とし	て、またも	母親同士が	仲間もつく	れる場と	して定着している	ます。今後も継
0 N	改 革	放に安心して参 す。 園理解の場は	加できる広報活 こなるよう取り組	i動をし、1人でも みます。 	。多くの未就 	は園児とその	の保護者の	の方に参加	してもらえる	るよう、今々	後も引き続き事業	業を推進してい
	二次評価者	学校教育課	長総合評価点	A 必	要性 4	有効性	4 達成	戊度 4	効率性	4 今後	の方向性	拡大•充実
	二次評価 の指摘事			た未就園児親子	にとって楽し	しく有意義	な活動と	なるよう工夫	を図ってく	ださい。		

No.	022		5001	事務事	業名		安全	:管理事務		紐	事務	事業名						公的関与 1
	課	名	学校教育	課	係	名	川上約	力稚園	電話番	号	08	39-964-44	20	メール	アドレス	. gakkokyoik	u@cit	y.toon.ehime.jp
	事業区	☑分	ソフ	アルマンド ・		事業運営	方法	一部委		施計	画	非該当	事業				年度	☑ 期間設定なし
	総合計	┼画	政策目標 第3	章 心豊か	に学びあ	う文化創造の	のまち	政策項目		育の	充実			主要施	策 (2)生	きる力の育成を	重視し	た教育活動の充実
	事業の	対象	幼稚園全体及	をび幼児	教職員					根拠	<u>l</u> 法令	学校教育	法、	東温市	立幼稚園	園規則		
	事業の	目的	最終的 導		の危機管			に、幼児の カ児の安全		今年						全管理の徹底 していきます		じ進めたり、
Р.			① 交通安全	全指導を	行います	0				4	安全	に関するが		ぎ理マニ	ニュアル(の作成を行い	ハます	0
LAZ	活動内	容	② 火災·地	震•不審	者の避難	推訓練を行	テいま~	† 。		5								
			③遊具や		全点検を													
			指	標名		計算	式又に	は指標設定	理由	単位		平成214	年度	平成	22年度	平成23年	度	最終目標
			遊具安全点格	全回数				により安全		口	目標	12			12	12		→
	P == 16							把握するた			実績				10			
	成果指	「神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神	避難訓練回数	汝		安全に対	する。	を行うこと 意識の深ま		口	目標	10			9	10		→
		-				待できる 交通安全		の実施に』	- n		実績				10	0		
			交通安全教室	をの回数		安全に対	する	意識の深る		口	目標 実績	2			1	2		→
	予算費	B ⊟	会計			待できる ·般会計	ため		費目名		夫 傾	2	教育		1	費		
	了开具		五山	平月		年度決	1笛	平成			值	平成	23		 [予算	^具 [<u></u>
		-	国•県支出会		ζ ΔΙ		千円		<u> </u>		千円		23	+13	0 千円			75
		-	地方債	<u> </u>) 千円				千円				0 千円	+		
,	直接事	業費	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	百)千円				千円				0 千円	4		
ОО		-	一般財源	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			3 千円				千円				56 千円	4		
		-	計(A)				3 千円				千円				56 千円	+		
			正職員工数・経	費 0.00	07 人		5 千円		人		千円		人		51 千円	4		
	人件費	(B)	臨時職員工数・経		- '		2 千円		$\frac{2}{\sqrt{1-x^2}}$		千円	0.009	人		15 千円	+		
	全休』		₹(A+B)	0.00	71 /		3 千円		^		千円				22 千円	-		
					総合								4 1 -				_	
	一次評価	価者	川上幼稚	!	評価点	Α	必多	要性 4	有効性	4	達力	戊度 3	郊	軽性	4 今後	後の方向性		見状維持 —————
	項目				評	価	項	目(の 説		明	(一次評	価者	のコッ	(ント)			
)安全な生活 ることが大切		るために	は、遊具の	の安全	と管理は必	要不可欠	です。	, また	、避難訓練	東等を	通して	自分の命	うを大切にし	守ろ	うとする幼児
CH	有効性	2年に 推進し	一度の専門美 人教職員の危	美者の遊 危機管理(具点検と の意識向	教師の確]上につな	認によ がって	さって安全な	な遊具の持	是供か	ごでき	ています。	また、	訓練に	おいて	も年度当初の	の計画	画に基づいて
ШСК)対応も早く、 携を取る大切				練を〕	通して、幼り	見に安全意	意識を	さたさ	せることがつ	できま	した。ま	た、教耶	職員も自分⊄)役害	を再確認した
A	効率性	危機管	管理体制の整	備の充実	そと教職員	員間で意識	裁統一	することで	、さらに効	率的	になる	と考えます	r.					
CTI	当面の 課 題	遊具の	の不具合の早	期発見の	ため、安	全点検表	その活	用の徹底が	『必要です	•								
0 Z	改 革計 画	確実に	こ月一度の安	全点検を	・行うよう	報告•確認	の徹点	底を進めて	いきます。									
	二次評	価者	学校教育記	果長	総 合評価点	А	必要	要性 4	有効性	4	達原	戊度 4	効率	率性	4 今後	後の方向性		見状維持
		評価で 摘事項		な遊具点	検の継続	^荒 、交通安	全やか	 危険回避意	でででいます。	をの継	続を行	テってくだ。	さい。					

No.	022		5004	事務	事業名		施	1設環	境整備事	务	斜	事務	事業名						公的関与 1
	課	名	学校教	育課	係	名	1	川上約	力稚園	電話都	号	08	39-964-4	420	メー	ルアドし	ノス gak	kokyoiku@ci	ty.toon.ehime.
	事業	区分	施設	どの維持		寻	 事業運営	方法	一部委	託 身	 E施計	一画	非該当	事美	業期間	£	F度 ~	年度	☑ 期間設定な
	総合	計画	政策目標	第3章 心	豊かに学び	びあうフ	文化創造の	つまち	政策項目	2 学校教	育の	充実			主要	施策(1)学校	施設・設備	の整備
	事業の	の対象	幼稚園の傷	R育環境	全体						根拠	L法令	学校教育	育法、	東温市	市立幼	稚園規則	則	
	事業は	の目的		安全で追 確保しま		すい瑻	環境を整	え、園	別児の健全	な成長を	今	年度	安全で词図ってい			環境整	を備に取	対組み、保	育の充実を
Р			① 園舎	や園庭な	ど、幼稚	進園全	体の環境	竟整備	帯を行いま	す。	4	温度	•湿度•照	照明・排	換気等	良好に	維持し	ます。	
LAZ	活動]内容	2 施設・	設備等の	の管理•	修繕	を行いま	す。			5	落下	、転倒、	ガラス	飛散防	方止対策	策を行い	ます。	
			3 教材。	や物品・イ	備品の購	購入事	務及び	管理を	を行います。)									
				指標名			計算記	大又に	は指標設定	建理由	単位	<u>.</u>	平成21	年度	平原	戊22年	度平	成23年度	最終目標
								質上、	、指標設定	三になじ		目標							
						ţ	Eない。					実績							
	成果	 指標										目標							
												実績							
												目標							
	マ竺	弗口	ᄉᆂ			ńΣ	և <u> </u>			弗口夕		実績		教育	5			# 	
	了昇	費目	会計	v			设会計 年度決	섬	平成	費目名 22 年	 Ē度涉	1 笘	平成	23		度予算	4	費 	<u></u>
			国・県支出			Z I		子円	十八	<u> </u>		· 异)千円				(及) / 字 0 子		1V用 	-
			地方債					千円				, _{干口})千円				0 7	-		
,	直接	事業費	その他特定					千円				, _{干口})千円				0 7			
DO			一般財法				4,685					, 1 1 千円			1	.591 =			
			計(A)				4,685					····· ' 千円				,591 			
			正職員工数・		0.794	丌	5,998		1.497			···· 千円			ı	,066 =			
	人件到	費(B)	臨時職員工数・	· 経費 (0.254	人	-	千円	0.352	 		千円		. 人		591 -			
	全位	——— 本事業費	 麦(A+B))			11,117	千円		1	3,660	千円			13	3,248 ∃	f円		
	一次	評価者	川上幼	稚園	総評価	合点	А	必要	要性 4	有効性	4	達原	戊度 4	効	率性	4	今後のカ	方向性	現状維持
	項目				評		価工	頁	目(の 訪	į	明	(一次記	評価者	雪のコ	メント	-)	·	
	必要性	生安全です。		育環境~	づくりは、	保育	や幼児の)健や	かな成長・	発達の基	盤に	なりま	す。幼児	が安全	全で豊	かな経	験を積	む上で、環	境整備は重要
C H	有効性		で充実した野保育の充実					な育ち	を保障す	る上で大	事でつ	ナ。全f	体に目を	配ると	ともに	細やか	な管理	を行うことで	手入れが行き
ШΟК	達成原		まで清掃・管 育の充実・					気持ち	らのよい生	活を送れ	ている	ます。言	また、清清	図で整	理整と	んが整	でた環	境は保育活	動を進めやす
А	効率性	全職員とが業	員が共通理 美務の効率性	解し、整 生向上に	備や管理 つながり	理に取ります	うり組むこ 。	ことが	重要と考え	ます。また	た、教	材•備	品等の管	ぎ理・氵	舌用に	おいて	は、使月	用後の始末	を適切に行うこ
C T I			層無駄のなことが必要													に、教師	市間で 通	連携を取り、	協力して進め
O Z	改革計画	首 活動は	こ対するチョ	ェック体制	_		こるとともし	に、報	告をきちん	ンと行うよ [?]	徹底	します	0						
	二次記	評価者	学校教育	育課長	総評価	合 点	А	必要	要性 4	有効性	4	達月	戊度 4	効	率性	4	今後のカ	方向性	現状維持
		欠評価で 指摘事項	TE BUE	的な点検		•	を備の継続	売と現	施設での	安全管理	の徹	底を図	ってくだ	さい。					

No.	022	_	5009	9 事	務事業	名	Ħ	₹就園	児支援事	業	糸	細事務	事業名						公的	関与 7
	課	名	学	校教育課	保		名	川上約	力稚園	電話番	号	08	39-964-44	20	メール	レアド	レス	gakkokyoiku@	city.tooi	n.ehime.jp
	事業区	分		ソフト	事業		事業運営	方法	直営	身	施記	計画	非該当	事業	其間	:	年度	~ 年原	₹ 🗷	期間設定なし
	総合計	画	政策目	標 第3章	心豊かに	学びある	5文化創造	のまち	政策項目	2 学校教	育の	充実			主要	施策	(5)家	え 庭や地域との	つ連携	
	事業の対	対象	未就園	見とその	の保護者						根据	処法令	学校教育	法、	幼稚園	園教育	要領	Ī		
	事業の目	目的	最終						場を作ると。 は有します。		今	·年度	経常的							
P				た就園児る け。	とその保護	養者に	、園を開放	女し、述	遊びの提供	をしま	4)								
LAZ	活動内	容			対し、保傾 有などに勢			とり、子	子育ての状	况把握、	5)								
			3																	
				指標	票名				は指標設定		単位	立	平成21:	年度	平成	戈22年	度	平成23年度	最終	終目標
			園開放	女実施回数	数				開放し、オ が集う場を		口	目標				1		4		→
		_	<u></u>				るため		• 71€ 7 777 €			実績				1				
	成果指	標										目標			<u> </u>					
		-										実績								
												目標 実績							-	
	予算費	目	会計	+			般会計			費目名	H	大帜		教育	î			費		
	7 77 70	_		<u> </u>	平成	21	年度決	算	平成		度	夬算	平成	23		度予算	算		:	 考
		-	国・県	支出金				千円				0 千円					千円			-
				方債			0	千円				0 千円				0 -	千円			
D	直接事業	美費 ├	その他	特定財源			0	千円			(0 千円				0 -	千円			
Ō		-	—— 般	段財源			0	千円				0 千円				0 -	千円			
		-	計	(A)			0	千円				0 千円				0 -	千円			
	1 ル		正職員コ	匚数・経費	0.038	人	287	千円	0.011	人	8	3 千円	0.011	人		81	千円			
	人件費(B) F	臨時職員	工数・経費	0.033	人	56	千円	0.005	人	,	9 千円	0.005	人		8 -	千円			
	全体事	事業費	₹(A +	⊦B)			344	千円		•	9	1 千円			•	90	千円			
	一次評価	五者	Ш	上幼稚園	総評値	合 西点	Α	必要	要性 4	有効性	4	達原	戊度 4	効	率性	4	今後(の方向性	現状	維持
	項目				Ī	平	価 :	項	目 (の 説		明	(一次評	価者	のコ	メン	F)			
	必安住	育てに	こついて	て考える責	貴重な場と	:して=	ニーズは高	らいで	す。									で仲間に出		
O H	有効性	園舎・ 護者同	園庭・ 引士が~	園内の教 つながる	材など、終会となっ	カ児期のたり、	の遊びに 発達や子	適した	に環境を提 の状況把握	供すること とにも有効	が です	可能であ -。	あり、親子 [、]	で安心	ひして	活動す	けるこ。	とを保障してい	小ます。	また、保
ECK	達成度	年何回 員と共	回の子 [₹] に子育	育て支援 育てについ	園開放を ハて考えて	計画に	こそって実 素地をつく	施し、ること	多くの親 - もできます	が継続し	て参	参加して	ています。	入園-	予定の	親子	も多く	、ここでのつか	よがりか	ら、教職
• 4 C	効率性	既存0 活動0)園環均)双方を	境を利用 を充実さ	しての活動 せることの	動を基 難しさ	本とし、コ はあります	ストは	抑えられて	います。	保育	時間と	平行して	実施し	ている	るため	、在圆	園児の生活と	未就園」	児親子の
T					等を生かする必要			放の運	重営をスリム	化する必	要が	ありまつ	す。参加し	た未	就園児	親子	にとっ	って楽しく有意	義な活	動となる
2 0	改革計画	地域の)子育	て支援の			後も継続し	て園	開放を実施	〕し、役割	を果	たしてい	いきます。							
	二次評価	西者	学校	交教育課	長 │総 評(合 点面	А	必要	要性 4	有効性	4	達原	戊度 4	効	率性	3	今後(の方向性	方法证	改善
	二次記 の指摘			北園前の 変	<u>-</u>	•)状況把揭	是及び	保護者の一	子育て意記	戦の西	镰成指	導と平準化	匕指導	草の継	続を行	テって	ください。		

No.	022 —	- 6001	事務	事業名		安全	管理事務		細	事務	事業名					4	的関与 1
	課名	学校教	育課	係	名	東谷幼	力稚園	電話番	号	08	39-964-44	20	メール	アドレス	gakkokyoiku	ı@city.	toon.ehime.jp
	事業区分	<i>y</i>	フト事	* 業	事業運営	含方法	一部委	託 実	施計	画	非該当	事業	期間	年度	~ 4	年度	☑ 期間設定なし
	総合計画	政策目標	第3章 心豊	豊かに学びま	あう文化創造	のまち	政策項目	2 学校教	育の	充実			主要施	(2)生	きる力の育成を	重視した	教育活動の充実
	事業の対象	た園する園	児・地域	或の幼児					根拠	<u>l</u> 法令	学校教育	法、	東温市	立幼稚園	園規則		
	事業の目的	为 最終的	安全で楽	をしく遊べる 園生活が	5施設、設(送れるよう)	備の充	実、活用し	、園児が	今:	年度							
Р		① 遊具の)安全管	理、点検					4	危機	管理マニ:	ュアル	作成				
L A N	活動内容	② 危険	ごと判断さ	されるもの	の速やかな	・修理	及び処理の)実施	5								
		③ 避難記	∥練、交ù	通安全教	室の実施												
			指標名		計算	式又に	は指標設定	定理由	単位		平成214	丰度	平成	22年度	平成23年	度	最終目標
		安全点検					の実施に。		回	目標	12			12	12		→
					安全状况	せん で把打	屋するため	<u> </u>		実績	12			12			
	成果指標	設備管理の)整備				より、視野	野を広げ	回	目標	3			3	3		→
					保育に活	571-9 /	(2 &)			実績	3			3			
		避難訓練			安全を確	雀保し、	、命を守る	るため	口	目標	12			12	12		→
	- h	A = 1			/n A = 1					実績	12	tet -t-		12			
	予算費目	会計	_		一般会計		n	費目名			— I	教育			費		<u> </u>
				^z 成 21			平成	22 年	度決		平成	23	年度	予算	備		
		国・県支出) 千円				千円				0 千円	-		
	直接事業費	↓ 地方債 費 ————) 千円				千円				0 千円	+		
D		その他特定) 千円				千円				0 千円	4		
0		一般財源	京		345	5 千円			344	千円			3	51 千円	1		
		計(A)			345	5 千円			344	千円			3	51 千円	<u> </u>		
	 人件費(B	正職員工数・	経費 0	0.009 人	68	3 千円	0.010	人	75	千円	0.010	人		74 千円	<u> </u>		
	71136(=	。 臨時職員工数・	経費 0	.002 人	. 3	3 千円	0.005	人	9	千円	0.005	人		8 千円	<u> </u>		
	全体事業	美費(A+B)		_	416	6 千円			428	千円			4	33 千円	1		
	一次評価者	東谷幼	稚園	総合評価点	A	必要		有効性	4		成度 4	効≅			後の方向性	瑪	状維持
	項目			評		項	目	の 説		明	(一次評	·価有	のコゝ	(ント)			
		まや条例で実 が必須用件でで		とが定めら	っれた事業	であり、	園児の安	全管理に	は、意	川練や	指導は必	須用化	牛です。	安全基	準に基づい	た遊り	見の安全点
CHL	有効性 園!	見の安全を守る	るため、す	また、安全	に対する意	意識の[句上を図る	ため欠か	せまも	せん。							
ECK		月点検や訓練 句上にも役立っ			り、園児の	安全教	教育につな	がってい	ます。	また、	チェックリ	ストに	記録す	ることに	より、教職員	.の安 <u>全</u>	全管理意識
• A C	20年12日	具の安全点検 権保が効率的	こ実施さ	れていま	す。					催で	実施して\ 	ます。	。園独	目でも点	検や指導を	実施し	ており、安
T I O		員数が少ない? ニュムミ 割ばまさ								E 17 3	エ ロ ^	<i>𝑉</i> + −	÷.22.	المال والمال المال	۶ ک <u>ند ایت ۱</u> ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱	m ユ Alli	(#) white
N	改 革 日3 計 画 しま	ごろから訓練を :す。	159こと	で女王対	R を 徹底し	しおさ	まり。また	、近只(/)	日吊月	ス使べ	′小具合^	ツ 埋	イルれよう	すぶなど	、週切な官	生ど継	柼しく夫肔
	二次評価者	学校教育	育課長	総 合評価点	A	必要	要性 4	有効性	4	達原	戊度 4	効≅	ጆ性	4 今後	後の方向性	瑪	!状維持
	二次評価 の指摘事		た人数~	での事業と	こなっている	るが、園	園児の安全	確保を第	→ にタ	努めて	ください。						

公的関与 No. 022 6004 事務事業名 施設環境整備事務 細事務事業名 電話番号 089-964-4420 メールアドレス gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp 課 名 学校教育課 係 名 東谷幼稚園 事業運営方法 非該当 事業期間 施設の維持管理 事業区分 一部委託 実施計画 年度 ~ 年度 ☑ 期間設定なし 総合計画 |政策目標||第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち | 政策項目 | 2 学校教育の充実 主要施策 (1)学校施設・設備の整備 |教材や保育環境, 園児の安全に関すること全般 根拠法令学校教育法、東温市立幼稚園規則 事業の対象 事業の目的 今年度 **【最終的 【**保育環境を整備し、園児の健全な成長を確保します。 (1) | 施設内外の環境整備、美化を行います。 (4) | 塗装、修繕、修理を行います。 P 活動内容 **(5)** ② | 教材購入計画や管理保管、処分を行います。 N ③ 温度、湿度、照明換気等良好に維持します。 平成23年度 最終目標 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成21年度 平成22年度 目標 業務の性質上、指標設定になじ まない 実績 成果指標 目標 実績 目標 実績 予算費目 一般会計 費目名 会計 教育 費 年度予算 平成 21 年度決算 平成 22 年度決算 平成 23 備 考 国・県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 1,323 千円 1,196 千円 1,038 千円 計(A) 1,323 千円 1,196 千円 1,038 千円 3,853 千円 正職員工数・経費 0.510 0.292 2,158 千円 人 0.292 人 2,201 千円 人 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.322 人 551 千円 0.102 174 千円 0.102 171 千円 全体事業費(A+B) 5.726 千円 3,571 千円 3,368 千円 合 効率性 今後の方向性 一次評価者 有効性 現状維持 東谷幼稚園 必要性 達成度 4 評価点 評 目 説 項目 価 項 の 明 (一次評価者のコメント) **必要性** | 充実した教育環境作りは園児の保育には欠かせません。無駄のない購入計画、環境整備計画は必須要件です。 C |有効性||教育環境の充実は園児とともに保護者からも安心して預けてもらう目安になるために欠かせません。 Η Ε 教材等の消耗品は目的、種類別で整理整頓がなされています。これにより増減が一目でわかります。安全、衛生面に関するチェックも教職員で、 達成度 C 月に1度は行っています。 予算を園児のために有効に活用できるよう計画に基づき、購入しています。教材購入の際は安価で教育効果の高いものを吟味しています。ま 効率性 た、修繕に必要な物についてはできるところは職員で行い、必要に応じて市にあげています。 C 当面の T 環境整備を行い、気持ちよく安心して遊べる環境づくりが必要です。 課 題 0 改 今後も園児の健全な成長を確保するために必要な事業であることから、今後も引き続き事業を推進していきます。 N 計 合 有効性 二次評価者 学校教育課長 必要性 達成度 効率性 今後の方向性 現状維持 Α 4 評価点 二次評価で 園児の健全な成長を確保するために必要な事業である。園児が気持ちよく安心して遊べる環境づくりに努めてください。 の指摘事項

公的関与 No. 022 6009 事務事業名 未就園児支援事業 細事務事業名 7 電話番号 メールアドレス gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp 課 名 学校教育課 係 名 東谷幼稚園 089-964-4420 事業運営方法 事業期間 年度 ☑ 期間設定なし 事業区分 ソフト事業 直営 実施計画 非該当 年度 総合計画 政策目標 第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち | 政策項目 2 学校教育の充実 主要施策 (5)家庭や地域との連携 未就園児とその保護者 事業の対象 根拠法令|学校教育法、幼稚園教育要領 園を開放し未就園児親子の集いの場を作るとともに、遊 事業の目的 最終的 今年度 経常的 びや子育てに関する情報を提供、共有します。 未就園児とその保護者に、園を開放し、遊びの提供をしま 1 **4** P 保護者に対し、保健情報を提案したり、子育ての状況把握、 **(5)** 活動内容 悩みの共有などに努めます。 N 3 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成21年度 平成22年度 平成23年度 最終目標 定期的に園を開放し、未就園児 目標 7 2 2 園開放実施回数 とその保護者が集う場を提供し 口 実績 ます。 成果指標 目標 20 特別支援の必要な子どもと保護 交流保育 口 者との交流保育を行います。 実績 目標 実績 一般会計 予算費目 会計 費目名 教育 費 平成 21 年度決算 平成 22 年度決算 平成 23 年度予算 備 考 国 · 県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 0 千円 0 千円 0 千円 計(A) 0 千円 0 千円 0 千円 正職員工数・経費 0.005 0.038 人 287 千円 0.005 人 38 千円 人 37 千円 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.000 0 千円 0.033 人 56 千円 0.000 0 千円 人 全体事業費(A+B) 344 千円 38 千円 37 千円 合 今後の方向性 一次評価者 有効性 現状維持 東谷幼稚園 必要性 達成度 効率性 4 評価点 項目 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント) 地域において、入園前に同年齢の幼児と遊ぶ機会は少なくなっているため、幼児だけでなく、保護者にとっても子育て仲間に出会い、親しみ、子 必要性 育てについて考える貴重な場としてニーズは高いです。 園舎・園庭・園内の教材など、幼児期の遊びに適した環境を提供することが可能であり、親子で安心して活動することを保障しています。また、保 C 有効性 護者同士がつながる機会となったり、発達や子育ての状況把握にも有効です。 Η Ε 年何回の子育て支援園開放を計画にそって実施し、多くの親子が継続して参加しています。入園予定の親子も多く、ここでのつながりから、教職 達成度 C 員と共に子育てについて考えていく素地をつくることもできます。 既存の園環境を利用しての活動を基本とし、コストは抑えられています。保育時間と平行して実施しているため、在園児の生活と未就園児親子の 効率性 活動の双方を充実させることの難しさはあります。 C 今年度から本格的に園開放を行います。参加した未就園児親子にとって楽しく有意義な活動となるよう工夫しながら計画していく必要がありま 当面の 題す。交流保育では、特別支援の必要な子が孤立することなく楽しく過ごせる環境設定を行っていきます。 0 改 地域の子育て支援の拠点として、今後も継続して園開放を実施し、役割を果たしていきます。 N 計 画 合 二次評価者 学校教育課長 必要性 達成度 有効性 効率性 今後の方向性 方法改善 3 4 評価点 二次評価で 園開放を通して、参加した未就園児親子にとって楽しく有意義な活動となるよう、また交流保育では、特別支援の必要な子が孤立する ことなく楽しく過ごせるよう工夫を図ってください。 の指摘事項

No.	022 —	7001	事務事業	名	多	全管理	理事務		細	事務	事業名					公的関与 1
	課名	学校教育	育課 係		名 西/	谷幼稚	隹園	電話番	号	08	9-964-4	420	メールアト	ドレス ga	akkokyoiku@ci	ty.toon.ehime.jp
	事業区分	ソ	 フト事業		事業運営方	法	一部委		施計	画	非該当	事業	朝間	年度	 ~ 年度	☑ 期間設定なし
	総合計画	政策目標 第	3章 心豊かに	学びある	う文化創造のま	ち 政治	策項目	2 学校教	育の	充実			主要施策	(2)生きる	る力の育成を重視し	た教育活動の充実
	事業の対象	在園する園	児・地域の約	幼児・	児童				根拠	法令	学校教育	育法、	 恒温市幼和	椎園規則	[]	
	事業の目的		■児が身近な! ます。	環境を	と生かしながら	b安全	に遊べ	るようにし	今年	丰度						
Ρ.		① 遊具・カ	施設の安全点	検実	施				4	業者	による遊	具の安全	全点検			
L A Z	活動内容	② 避難訓	練の実施						5	安全	に関する	危機管	理マニュ	アル作品	戎	
		③ 交通安	全教室の実施	施												
		į	指標名		計算式				単位		平成21	年度	平成224	年度 ³	平成23年度	最終目標
		安全点検回	*数		職員が定期 危険場所が				□	目標	12	2	12		12	→
		久工派队口			め。	w/ 010	3 3 A A	7 870		実績	12		12			
	成果指標	避難訓練の	回数		安全を確保	し、俞	うを守る	るため。	口	目標	3		3		3	→
										実績	3		3			
		交通安全教	室の実施数		横断歩道の 等の指導を	受けな	よがら、	交通	口	目標	2		2		2	→
	マ佐井口	∧ = 1			ルールを理	解して	ていくナ			実績	2		2	_	#	
	予算費目	会計	w et		般会計		ਹ ।	費目名	中 24	左	ज ले	教育	左曲マ	· /#	費	
		园 旧士山	平成	21	年度決算		平成	22 年	度決		平成	23	年度予			有
		国・県支出	並		0 ∓					千円				千円		
	直接事業費	地方債	Lar		0 ∓					千円				千円		
D		その他特定財			0 千					千円				千円		
0		一般財源			306 ∓					千円				千円		
		計(A)		Ī	306 ∓			1		千円				千円		
	人件費(B)	正職員工数・総		人	23 ∓		0.017	시		千円				千円		
		臨時職員工数・網	経費 0.001	人	2 千		0.009	시		千円	0.009	人		千円		
	全体事業	費(A+B)	60	•	330 ∓	·HI			448	千円			452	千円		
	一次評価者	西谷幼科	言半1	合 西点		必要性		有効性	4	達瓦		効率			方向性	現状維持
	項目			评	価 項	E] (の 説		明	(一次記	評価者(のコメン	/ ├)		
	必要性 学校	教育法や市の	の規則により、	避難	訓練等、安全	*管理/	は義務	付けられて	こいる	事業で	です。					
СН	有効性 園児の	の安全を確保	尺するため、欠	くこと	ができません	/o										
ВΟК	達成度	場所があれば 交と合同で行	ば、職員や小学 fったり、発達	学校事に応じ	耳務員がすば に園内で行	やく対 ったり。	が応したと細やな	り、教育委がな対応が	:員会 [*] でき	を通し ていま	て、業者	育により 真	收善•修綿	善がされて	ています。訓練	東においても、
• A C	効率性 業者	こよる安全点	検を行うこと	で、事	前に改善され	ている	ます。 /	学校と一	緒にか		管理体制	が整備さ	されていま	ます。		
T	課題 防犯・	・防災の徹底	や体制につい	って再	度見直しを行	亍う必 勇	要があり	ます。また	こ、こえ	こから	も潜在危	険の洗	い出しとき	安全性の	の確保を行いる	ます。
2 0	改革計画 命を行	字る大切な事	業のため、今		別き続き事業	を推進	進してい	きます。								
	二次評価者	学校教育	「課長 総 評価	合 点面	A u	必要性	E 4	有効性	4	達瓦	戈度 4	効率	性 4	今後の	方向性	現状維持
	二次評価 ⁻ の指摘事項	NH2 (~ 7/1	た人数での事		なっているが	、園児	の安全	確保を第	- に多	努めて	ください	0				

No.	022		7004	事	務事業名	ı	施	記環:	境整備事	務	ş	細事務	事業名						公	的関与 1
	課	名	学校教	育課	係	名	3 1	西谷幼	1 種園	電話	番号	08	89-964-	4420	メー	ルアト	・レス	gakkokyoiku	@city.	toon.ehime.jp
	事業区	☑分	施設	その維持	持管理	=	事業運営	方法	一部委	託	実施	 計画	非該当	事	業期間		年度	~ f	F度	☑ 期間設定なし
	総合計	┢画	政策目標	第3章,	心豊かに学	びあうこ	文化創造の	りまち	政策項目	2 学校	教育の)充実			主要	施策	(1)	学校施設•設	備の	 整備
	事業の	対象	教材や保育	育環境	全体						根	拠法令	学校教	育法、	、東温	市幼科	*園規	見則		
	事業の	目的	最終的	保育環	環境を整備	し、園	別児の健全	全な成	長を確保	します。	今	*年度								
P			1 施設	为外の	環境整備	を行い	ハます。				4)温度	、湿度、	照明	、換気	等良好	子にし	ます。		
LAZ	活動内	容	2 教材	や絵本	の管理を	行いる	ます。				(5)									
			3 物品。	•備品♡	の購入・廃	棄事	務及び管	で理を行	行います。											
				指標	名		計算記	大又は	指標設定	定理由	単位	立	平成2	1年月	度 平月	式22 ⁴	年度	平成23年	度	最終目標
								質上、	指標設定	官になじ		目標								
						orl	まない。					実績								
	成果指	1標										目標	-							
												実績								
												目標								
												実績								
	予算費	目	会計				2会計			費目名				教				費		
					平成	21	年度決		平成	22	年度		平成	2	3 年	度予		備		
			国・県支出				0	千円				0 千円				0	千円			
	直接事	業費	地方債	Ī			0	千円				0 千円				0	千円			
D	臣 汉 于 .	不 只	その他特定	財源			0	千円				0 千円				0	千円			
0			一般財	源			1,563	千円			83	1 千円				933	千円			
			計(A))			1,563	千円			83	1 千円				933	千円			
	1 /4 #		正職員工数・	経費	0.303	人	2,289	千円	0.348	人	2,62	3 千円	0.34	8 <i>)</i>	(2	2,572	千円			
	人件費	(B)	臨時職員工数	・経費	0.183	人	313	千円	0.144	人	24	5 千円	0.14	4 <i>)</i>		242	千円			
	全体	——— 事業費	麦(A+B))			4,165	千円			3,69	9 千円			- (3,747	千円			
	一次評	価者	西谷幼	1稚園	総評価	合点	А	必要	译性 4	有効性	± 4	達用	戊度	1 交	协率性	4	今後	の方向性	現	状維持
	項目				評	į	価」	項	目(の	锐	明	(一次	評価	者の=	メン	/ 			
	必要性	充実し	た教育環	境づく	りは、園児	lの保 ⁻	育に欠か	せませ	せん。また、	、廃材の	活用 [、]	や無駄	のない言	十画に	こより、物	かを大	:切に打	扱うことにつ?	ながっ	ています。
СН	有効性	樹木@ 教材•	の剪定や消 備品等の望	毒、季望ましい	*節の花や ハ配置・活	野菜	を植える テうことで	など、〕 、充実	戸外の環境 とした園生	竟整備を 活が保障	と行うこ 章され	ことによます。	り、園内	でも考	季節の種	多り変え	わりを	感じ取ること	ができ	きています。
ECK	達成度	備品ゞ	や教材、消	耗品等	章、整理整	頓がさ	られていす	ます。言	また、外部	と連携を	ご取った	たり、教	が問で	連携は	協力を行	うった	りして	進めることか	ゞ でき゛	ています。
A	効率性	時間を	を有効活用	し職員	が環境整	:備を ⁻	するととも	に、シ	/ルバー人	材や保	護者基	逐仕活 動	動を活用	し、交	効率性を	を高め	ている	ます。		
C T I	当面の 課 題	限られ	ルた職員が	それぞ	れに役割	を果た	こしながら	連携	し、環境の	整備と	美化に	努める	必要がる	ありま	す。					
O Z	改 革計 画	効率。	たく施設を管	管理する	るため、今	·後も糸	継続し推済	進して	いきます。											
	二次評	価者	学校教	育課長	総評価	合	Α	必要	[性] 4	有効性	± 4	達月		4 交	加率性	4	今後	の方向性	現	状維持
		評価で 摘事項		の健全	•	•	するためい	こ必要	な事業で	ある。園	児が参	気持ち。	よく安心	して遊	生べる環	境づ	くりに	努めてくださ	(۱)°	

公的関与 No. 022 7009 事務事業名 未就園児支援事業 細事務事業名 7 089-964-4420 メールアドレス gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp 課 名 学校教育課 係 名 西谷幼稚園 電話番号 事業期間 事業運営方法 年度 ☑ 期間設定なし 事業区分 ソフト事業 直営 実施計画 非該当 年度 ~ 総合計画 |政策目標||第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち | 政策項目 | 2 学校教育の充実 主要施策 (5) 家庭や地域との連携 在園児や保護者及び地域の幼児・児童・保護者 根拠法令 事業の対象 事業の目的 今年度 | 最終的 |保護者の子育てへの不安や孤立感を解消します。 ① 園庭開放(随時) **4** P ② 育児相談(随時) **(5)** 活動内容 3 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成21年度 平成22年度 平成23年度 最終目標 目標 業務の性質上指標設定になじま ない。 実績 成果指標 目標 実績 目標 実績 予算費目 一般会計 費目名 会計 教育 費 年度予算 平成 21 年度決算 平成 22 年度決算 平成 23 備 考 国・県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 0 千円 0 千円 0 千円 計(A) 0 千円 0 千円 0 千円 正職員工数・経費 0.026 0.038 人 287 千円 0.026 人 196 千円 人 192 千円 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.033 人 56 千円 0.008 14 千円 0.008 13 千円 全体事業費(A+B) 344 千円 210 千円 206 千円 合 一次評価者 有効性 今後の方向性 拡大•充実 西谷幼稚園 必要性 達成度 効率性 4 評価点 説 項目 価 項 目 の 明 (一次評価者のコメント) **必要性** 対稚園における子育て支援活動の推進事業で、保護者同士の交流機会の提供の場にもなっています。 C **有効性**【保護者の子育てへの不安や孤立感の解消を図ります。また、未就学児にとっては、園の環境に慣れ、スムーズな園生活につながります。 Η Ε 園開放が計画的に実施でき、幼児の遊び場や保護者同士が思いを話し合う場の提供ができました。他の幼児の様子を見たり、園が子育ての悩 達成度 C み等を聞いたりすることで、不安やストレスが減少し、子育てが安定してきます。 幼稚園や小学校を遊び場として提供することで、保護者同士のつながりができたり、子育ての伝承ができています。限られた職員体制で進めて 効率性 いく難しさはあります。 A C 当面の T 在園児の保護者の思いに寄り添いながら支援していくとともに、地域の子育ての拠点となる必要があります。 課 題 0 改 革 園開放を定着させ、校区の幼児だけでなく幅広く地域の未就園児や保護者が集える場を提供していきます。 N 計 合 二次評価者 学校教育課長 必要性 有効性 達成度 効率性 今後の方向性 拡大・充実 4 4 評価点 二次評価で 園開放を通して、参加した未就園児親子にとって楽しく有意義な活動となるよう、また、交流保育では、特別支援の必要な子が孤立す の指摘事項 ることなく楽しく過ごせるよう工夫を図ってください。